



今年の夏は一段と厳しい暑さになっていますね。子どもたちは水遊びを楽しんでいます。たっぷりの休養と栄養バランスの取れた食事で夏バテ知らずのからだを目指しましょう。たくさん遊んだあとは、ゆっくりと過ごしてしっかり疲れを取るようにしましょう。

虫刺され・植物かぶれにご注意！！

虫刺されも、植物かぶれも、まず絶対にかかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまいますので、十分に気を付けましょう。

蚊

子どもの場合、蚊に刺される免疫が少ないため、水ぶくれができることもあります。刺されたら患部を洗い、30分以内に炎症をとる薬を塗ると、症状が軽くて済みます。

毛虫

毛虫の毛が皮膚に刺さって炎症を起こした場合は、患部にセロハンテープなどを貼ってはがすと毛が取れるため軽症で済むことがあります。また、直接触らなくても毛が皮膚に触るだけで強い皮膚炎を起こすこともあります。

タニ

市販の虫刺され用の薬で効果があります。人によってはアレルギーなどで、全身に発疹が広がったり、ぜんそくや皮膚炎を引き起こす場合もあるので、その場合は受診しましょう。

ムカデ・ハチ

刺されるとすぐに強い痛みが出ます。腫れが強い場合は受診しましょう。以前にも同じ虫に刺されたことがあり、気分が悪い、息苦しいなどの場合にはアナフィラキシーショックの可能性があるので、早急に受診しましょう。

植物かぶれ

植物の中には発疹や水ぶくれなどを起こすものもあります。症状が出た場合、患部を触って広がらないように衣類を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止めなどを塗ったりしましょう。水ぶくれは清潔なガーゼで覆います。患部が広がったり、かゆみが治まらない場合は受診しましょう。

《皮膚のケア》

子どもは新陳代謝が活発でたくさん汗をかきます。放っておくと皮膚トラブルにつながるのので体を清潔にして快適な毎日を送れるようにしましょう。



汗をかいたら、こまめにシャワーを浴びたり、濡れタオルで優しく拭き取りましょう。



お風呂上がりは、バスタオルでしっかり体を拭きましょう。あせもができてい時は、上から優しく押さえて水気を取ります。



お風呂上がりの清潔な状態で、保湿クリームをつけましょう。



〔8月7日は鼻の日〕

～五感を刺激する0歳からの人間教育の意味を考える～

私たち（社福）童心会の求め続けたテーマにある人間教育の原理原則はようやく 2001 年 OECD(経済開発協力機構)から発表された保育白書 ECEC (Early Childhood Education and Care 乳幼児の教育とケア) の中で次のように実証されたのです。

近年の脳神経科学の研究により、幼い子ども、特に3歳児未満の人生の最初期にある子どもは有能な学習者であることが確かとなった、と実証してくれたのです。また『21世紀の証拠に基づく「子ども育て」』kkぎょうせい(掛札逸美他2名著)の中でも次のように紹介していました。

- 1)生まれた瞬間から子どもの脳と体を育てる科学的な方法を考えながら生きること。
- 2)知識・技能：誕生から死ぬまで学び、身につけるもの

私たちはこれらを生涯学習・生涯教育として学び続けることを訓えとして伝え続けています。それは次のようになりました。

人間教育の基盤

(五感を刺激する0歳からの教育)

見て倣い 観せて学び

聞いて考え 聴かせて習う

触れて知って 触って記憶する

風に香りを嗅ぎ

五味・五色・五感で四季を味わう

今日もまた一日一生を念じながら、すべての仲間たちの well-being “幸せになろうね！幸せになろうよ！”と祈り続けていくつもりです。

どうぞいつまでもお幸せに！

理事長 中山 勲